



ごみ減量にご協力ください ごみ減量化器具をあっせん

町と環境保健委員会では、増え続けるごみの減量化を図るため、一般家庭を対象にごみ減量化器具をあっせんを行います。この機会にぜひ一家に1台設置していただき、家庭から出る生ごみの自家処理にご協力ください。購入を希望されるかたは、電話、ファクシミ

リ、Eメールのいずれかの方法で環境課にお申し込みください。
申込期限 7月31日(木)
購入申込先 役場環境課
TEL 84)4686
FAX 84)4904
Eメール kankyo@town.meiwa-gun.nag.jp
器具の配布 8月末(予定)

生ごみ処理機 あっせん器具A ゴミナイスSNS-SD30

生ごみ処理機とは・・・
電氣を利用して微生物による発酵分解を早め、生ごみを有機肥料にリサイクルできるものです。
使い方 使い始める前にホールチップ1袋を生ごみ処理機に入れます。あとは、毎日台所から出る生ごみを入れるだけです。



生ごみ処理機

生ごみ処理槽 あっせん器具B わんだ-BOX200型

交換用ホールチップ 約3か月で1袋くらいホールチップを補充する必要があります。(役場環境課で取り扱っています。1袋1,300円)

設置方法 土を掘りおこし、土中に5〜10cm位埋めて設置します。

使い方 生ごみ、雑草、落ち葉などを投入し、厚さが約20cm位になったら土を2〜3cmの厚さにかぶせ、また、その上に生ごみ等を投入していきます。

投入した生ごみ等は、土中のバクテリアの発酵・分解作用により堆肥となります。
寒い時期には、生ごみが発酵し



生ごみ処理槽

にくいいため、処理槽は1世帯に2個必要と思われます。

生ごみ処理容器 あっせん器具C EMサポートR15

使い方(生ごみの発酵の仕方)
水切りした生ごみを容器の中に入れる。
EMポカシをふりかける。
蓋をしっかりと閉める。

蓋をしっかりと閉める。

を繰り返し、生ごみの量が8分目になったら1〜2週間置いておき、甘酸っぱい臭いがしてきたらでき上がりです。

発酵が終わった生ごみは、家庭菜園等の有機肥料としてお使いください。

生ごみ処理容器は、交換用として、2個あると便利です。



生ごみ処理容器

あっせん器具一覧表

	あっせん器具	あっせん価格	備考
A	生ごみ処理機(処理能力 最大1.7kg/日) ゴミナイス SNS-SD30 (ホールチップ1袋付き)	14,000円	一世帯 1台まで
B	生ごみ処理槽(わんだ-BOX200型)	2,800円	一世帯 2個まで
	脱臭剤セル 別売 1本	710円	何本でも可
	害虫駆除剤 別売 1本	520円	
C	生ごみ処理容器(EMサポートR15) (EMポカシ1袋付き)	1,000円	一世帯 2個まで

EMポカシ 役場環境課で取り扱っています。(1袋150円)

お問い合わせ
環境課(老人福祉センター内)
☎(84)4686